

工場用システム保管庫 TZシリーズ

取扱説明書

このたびは、当製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
本製品をご使用になる前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管して下さい。

安全上のご注意

使用上の安全を確保するため以下のことをお守り下さい。

△ 警告 取扱いを誤ると、死亡又は重傷を負う可能性があります。

1. スチール家具を設置する場合は、倒れ防止工事を必ず行って下さい。
製品を壁又は床に固定することで、転倒によるけがを防ぐことができます。
2. 開いた扉の上部に手をかけて力を加えないでください。倒れてけがをすることがあります。
3. 廃棄する場合は専門業者又は購入店へお申し付け下さい。

△ 注意 取扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

1. 本製品は屋内仕様です。故障やサビの原因になりますので屋外には設置しないで下さい。
2. 次の物は絶対に収納しないでください。
 - ①放射性物質・毒物・劇物・爆発物・揮発性物質等の危険物。
 - ②現金、証券等の貴重品
 - ③生き物、冷凍・冷蔵を要するもの。
 - ④その他収納に適していない物。
3. 直射日光やストーブ等の熱が直接当たる場所や湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けて下さい。
4. 製品・可動部の隙間に手や指を入れないで下さい。
5. 本体や棚板の上に乗らないで下さい。転倒やけがの恐れがあります。
6. 用途以外のことで使用しないで下さい。けがをすることがあります。
7. 商品の分解や改造はしないで下さい。
8. 異常を発見したまま使用しないで下さい。本体が壊れてけがをすることがあります。
9. 棚板には最大積載質量（等分布で棚は70Kg）以上の物をのせないでください。製品が故障したりけがをすることがあります。
10. 本製品の錠前は簡易施錠です。工具などによる破壊には耐えられません。
収納物の盗難につきましては、一切責任を負いませんのでご注意下さい。
11. 溶接やカシメのゆるみ、ネジ等の欠落などの異常を発見した時は、直ちに使用を中止してお買い上げの販売店へご相談下さい。
12. 必ず水平な場所に製品を設置して下さい。本体の転倒のおそれ、扉の開閉や施錠で異常が発生する場合があります。
13. 本体や棚板の上に乗る、ぶら下る、寄りかかるなどしないで下さい。転倒したり、壊れてけがをすることがあります。
14. 液体が製品に付着した時はすぐにふき取って下さい。放置しますとサビが発生する場合があります。

その他の注意

1. 鍵を紛失しないようご注意下さい。万一カギを紛失された場合は、カギ番号と製品名を確認いただき購入先へご注文下さい。
鍵番号は鍵穴の付近に刻印されています。
2. 製品を第三者に譲渡する時は、取扱い方法を十分に説明して下さい。
3. 扉の開まり具合を日々点検し、不具合が発生した場合は購入店へ修理をご依頼下さい。

日常のお手入れ

- ・日常のお手入れは、乾いた柔らかい布でから拭きを行って下さい。
 - ・表面の汚れが目立つ時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に浸して固く絞り、汚れを拭きとって下さい。その後水で洗った布を固く絞り、水分が残らないように洗剤のついた箇所を拭きとって下さい。
- ※注意 シンナー系の溶剤、酸・アルカリ性の洗剤の使用は表面をいためますのでご注意下さい。

製品の仕様

寸法 表-1参照

標準付属部品 表-2参照

主要材質 亜鉛メッキ鋼板

取手 ABS樹脂

表面処理 アミノアルキドメラミン樹脂焼付塗装

故障・異常の見分け方

以下の症状が発生した場合は以下の項目をご確認下さい。

- ・扉が閉まらない。開きにくい。：本体のレベルは水平ですか？ 収納物がはみ出ているか、こぼれていませんか？
- ・鍵がかからない。扉はきちんと閉まっていますか？ 収納物を詰め込みすぎていませんか？ 本体にゆがみはありませんか？
- ・棚板ががたがたする。：本体側の棚ツメに棚板が完全に入っている状態ですか？ ツメは4箇所とも同じ高さですか？

以上のことを処置しても直らない時は販売店へご相談下さい。

また、消耗品には寿命があります。樹脂部品・稼働部の部品に異常が発生した場合は、販売店へお知らせ下さい。

■表-1 寸法表

型番	外寸法(mm)			棚板	質量(kg)	
	間口(W)	奥行(D)	高さ(H)			
オープンタイプ TZO-7	900	450	720	1	28.0	
オープンタイプ TZO-11			1050	2	31.0	
スチール引違扉タイプ TZS-7			720	1	39.0	
スチール引違扉タイプ TZS-11			1050	2	47.0	
ガラス引違扉タイプ TZJ-7			720	1	32.0	
ガラス引違扉タイプ TZJ-11			1050	2	39.0	
両開扉タイプ TZH-7			720	1	36.0	
両開扉タイプ TZH-11			1050	2	41.0	
両開扉タイプ TZH-18			1830	4	74.0	
アクリル引違扉タイプ TZP-7			720	1	32.0	
アクリル引違扉タイプ TZP-11			1050	2	39.0	
ベース TZB-06			430	60	-	6.0

■表-2 付属部品表

部材・部品		トラス M6×10	トラス M6×25	M6 座付ナット (13)	M6 座付ナット (16)	目隠しキャップ (Φ8)	目隠しキャップ (Φ15)	棚板	棚受ツメ
									
品名・型番		左右連結用	上下連結用	左右連結用	上下連結用	左右連結用	上下連結用		0内はセット数
オープン	TZO-	7	4	4	4	8	-	1	4(1)
		11	4	4	4	8	-	2	8(2)
スチール引き違い	TZS-	7	4	4	4	8	-	1	4(1)
		11	4	4	4	8	-	2	8(2)
両開き戸	TZH-	7	4	4	4	8	-	1	4(1)
		11	4	4	4	8	-	2	8(2)
		18	4	-	4	-	16	4	4
枠付ガラス引違戸	TZJ-	7	4	4	4	8	-	1	4(1)
		11	4	4	4	8	-	2	8(2)
77mm枠付引違戸	TZP	7	4	4	4	8	-	1	4(1)
		11	4	4	4	8	-	2	8(2)
ベース	TZB-	06	-	-	-	-	-	-	-

■保証の明細

お使いの当社製品が取扱説明書の注意書による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店又は下記記載のお問い合わせセンターへご連絡ください。

1.保証項目・期間

保証期間は、一般のオフィスまたはご家庭において通常の使用を想定して定めたものです。24時間、年中無休での業務やこれに準ずる過酷な使用での保証期間ではありません。

対象部位	不具合内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部分の変・褪色	1年
機構部・可動部	スライド機構・扉の開閉・錠前の故障	2年
構造体	強度・構造体に係る破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理については有償とさせていただきます。

2.保証対象外

保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ・お買上げ後の輸送、移動時のお取扱いが不適当なために故障・損傷
- ・誤用・乱用及び取扱不注意による故障・損傷
- ・不当な修理または改造等使用者の責任に帰すると認められる故障・損傷
- ・火災、地震、水害、その他の天災地変及び異常電圧による故障・損傷

■お問い合わせ先

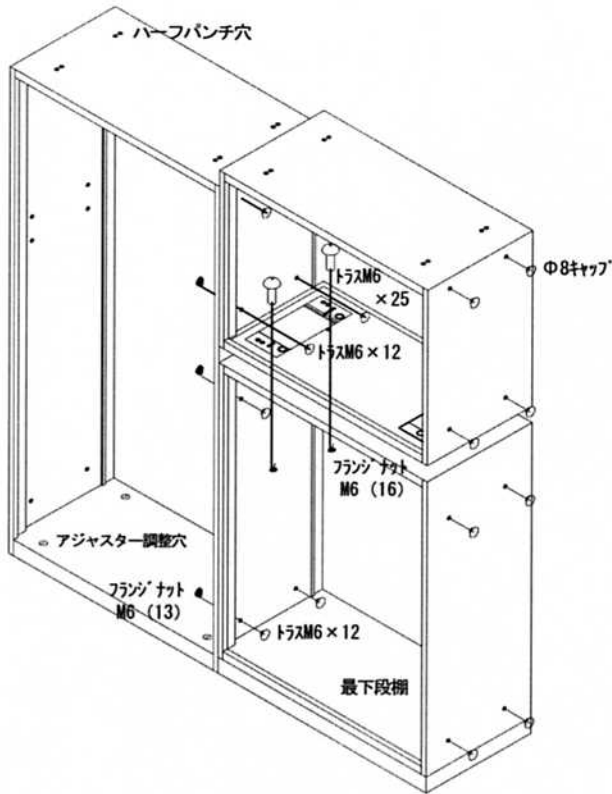
製品に関するご質問は、表示シールの品番・製造番号をご確認の上、ご購入店にお寄せください。

壁面書庫 組立説明書

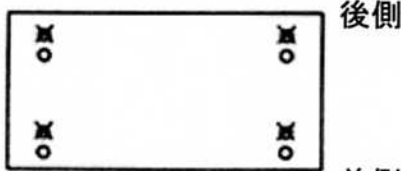
この度は、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
この組立説明書は製品の組立て手順と必要部品を記載しておりますので、説明をよくお読みいただき手順どおりに組み立てて下さい。また組み立てた後も大切に保管して下さい。

組立てに必要な工具

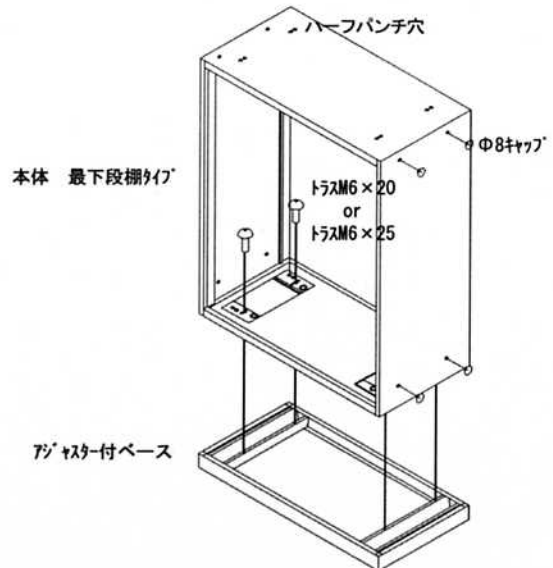
- ・ プラスドライバー
- ・ 六角レンチNo5(アジャスター調整用)
- ・ 水平器など、製品を水平にするための道具



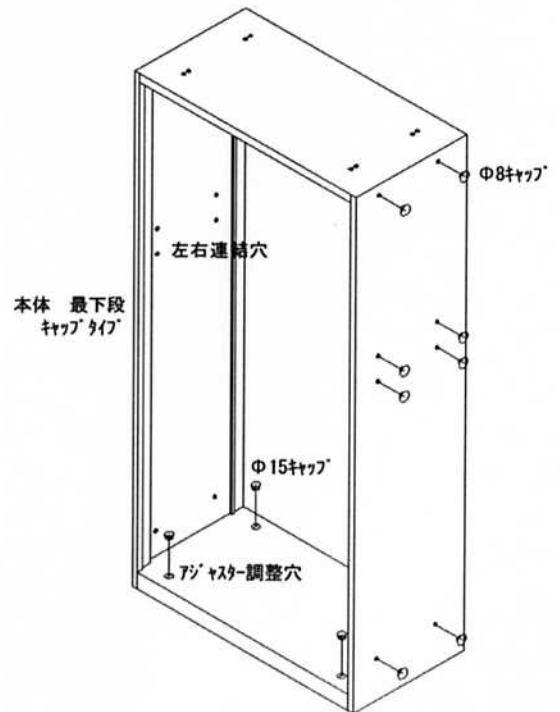
本体と本体の連結



上下連結時のハーフパンチの抜き位置



底板が棚板タイプの部品取り付け



底板がキャップ穴付タイプの部品取り付け

本体を設置する前の準備

- ・ 本体底板部分に穴のない製品については、最下段棚板タイプとなり底部が棚板構造になっていきますので、ベースや本体の上下連結を行なう場合は底の棚板を上引き上げ、取り外してから作業を行なって下さい。
- ・ ラテラル/ケンドンキャビネットについては、各々の引出しを取り外してから作業を行なって下さい。引出しの脱着方法については、別項をご確認ください。
- ・ シャッター扉、3枚扉の製品については、付属しているジョイント部品を底板の大きい穴4箇所に取り付けてから 作業を行なって下さい。

本体と本体の連結方法

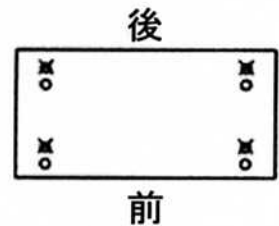
※ 製品の設置を行う場合、床に接する製品はアジャスターが付いたものをご使用下さい。

■ベースと本体の上下連結方法

- (1)
 - ◆最下段棚板タイプの場合
本体をベースに乗せ、本体付属の上下連結用トラスネジ（購入製品によりM6×20かM6×25のどちらか）を底板の長穴「O」に上から差し込んでドライバーで締付けます。
 - ◆ジョイントキャップタイプの場合
底部分のジョイントキャップを差し込んだ穴に上からトラスM6×12を差し込んでドライバーで締付けてください。
- (2) 本体の水平レベル調整をおこなって下さい。方法は地板部にあいている穴の中からアジャスターの頭部にある六角形の形状が見える箇所へ六角レンチ5mmを差し込み、六角レンチを回転させて高さを調整してください。
- (3) 本体のレベル調整終了後、最下段棚板タイプの製品は棚板を本体内の元の位置に戻して下さい。ジョイントタイプの製品は付属部品の連結キャップΦ15を使用して、本体の穴を塞いで下さい。

■本体と本体の上下連結方法

- (1) 下段に設置する本体天板部分のハーフパンチ穴のうち右図×印の部分プラスドライバーで打ち抜きます。
- (2) 上段に乗せる本体を、下段本体の上に背面底カド部を合わせて乗せます。
- (3) (1)で打ち抜いた穴と上置した本体底部にある穴で一致している部分に、本体付属の上下連結用トラスネジ（購入製品によりM6×20かM6×25かM6×12のいずれか）を上置本体側から差し込んで下置本体側からM6座付ナットを使用してドライバーで締付けます。
- (4) 連結完了後、最下段棚タイプは取り出した棚板を元の位置に戻して完了です。ジョイントキャップタイプは、ジョイント穴に連結キャップΦ15を入れ込み蓋をして完了です。



■本体と本体の左右連結方法

- (1) 本体左右の内側の穴から隣り合う穴に対して、上下4箇所へ本体付属の左右連結用トラスネジM6×10とM6座付ナットを使用して本体を連結します。
※ 本体を左右連結しない場合は、付属の目隠しキャップΦ8を取り付けて下さい。